

Asset Management

HSBC 世界資源 エネルギーオープン

追加型投信／内外／株式

交付運用報告書

第16期 (決算日2023年3月29日)

作成対象期間

(2022年3月30日～2023年3月29日)

第16期末 (2023年3月29日)	
基準価額	10,658円
純資産総額	3,213百万円
第16期	
騰落率	△ 6.0%
分配金(税込み)合計	300円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

▶当ファンドは、信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、弊社のHP(ホームページ)で下記の手順でご覧いただけます。

<閲覧方法>

右記URLにアクセス⇒HP上部の「基準価額」を選択⇒当ファンドのファンド名称を選択⇒「運用報告書」を選択⇒「交付運用報告書・運用報告書(全体版)」の一覧の最新の運用報告書(全体版)を選択すると、当該運用報告書(全体版)を閲覧・ダウンロードすることができます。
※将来、HPの見直し等により、閲覧方法が変更になる場合があります。

▶運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「HSBC 世界資源エネルギーオープン」は、2023年3月29日に第16期の決算を行いました。

当ファンドは、「HSBC 世界資源エネルギーマザーファンド」への投資を通じて、主に世界の資源・エネルギー関連の株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指す投資方針に沿い、運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

HSBCアセットマネジメント株式会社

東京都中央区日本橋3-11-1 HSBCビルディング

«お問い合わせ先(投信営業本部)»

電話番号: 03-3548-5690

(営業日の午前9時～午後5時)

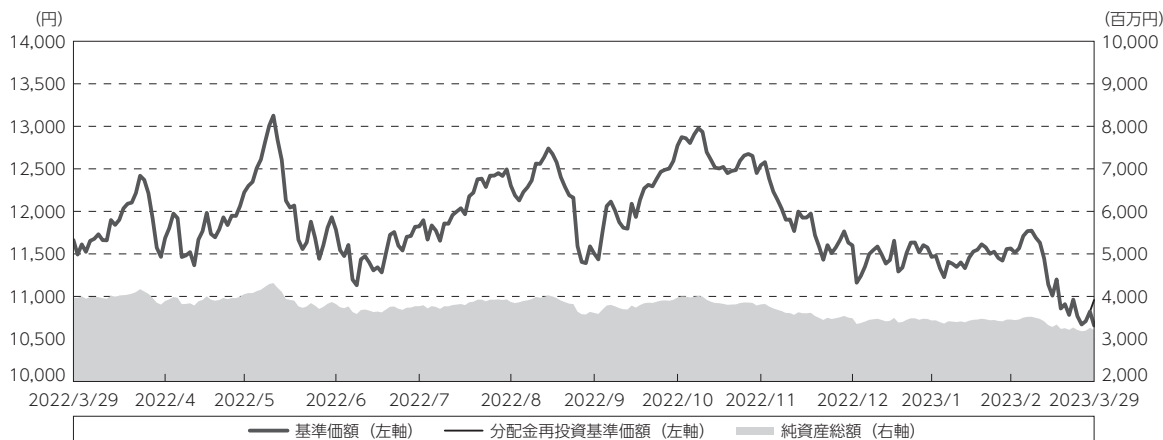
ホームページ: www.assetmanagement.hsbc.co.jp



◆運用経過◆

基準価額等の推移について

(第16期：2022年3月30日～2023年3月29日)



期 首：11,663円

期 末：10,658円 (既払分配金(税込み)：300円)

騰落率：△ 6.0% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、期首(2022年3月29日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

基準価額の主な変動要因

<上昇要因>

エネルギーのエクソン・モービル(米国)、ハリバートン(米国)、テナリス(ルクセンブルク)などの株価が上昇したことが基準価額にプラスとなりました。また、為替相場において、米ドルやユーロなどが対円で上昇したこともプラス要因となりました。

<下落要因>

エネルギーのルンディン・エナジー(ノルウェー)、公益事業のヴェオリア・エンバイロメント(フランス)、NRGエナジー・インク(米国)などの株価が下落したことが基準価額にマイナスとなりました。為替相場では、カナダドルやオーストラリアドルなどが対円で下落したことがマイナス要因となりました。

1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	210	1.760	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(105)	(0.880)	委託した資金の運用の対価(運用委託先への報酬が含まれます。)
(販 売 会 社)	(92)	(0.770)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(13)	(0.110)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	17	0.142	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(17)	(0.142)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	3	0.022	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(3)	(0.022)	
(d) そ の 他 費 用	30	0.255	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(18)	(0.150)	海外保管銀行等に支払う保管・送金・受渡費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.012)	監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(そ の 他)	(11)	(0.093)	振替制度にかかる費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出にかかる費用等
合 計	260	2.179	
期中の平均基準価額は、11,906円です。			

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

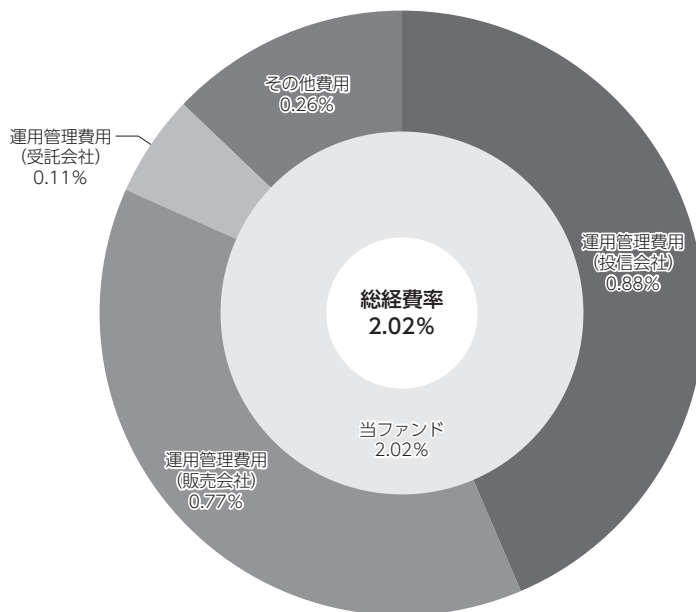
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) 「(d) その他費用」の「(その他)」には、非居住者のインド株式投資の売買益に係るキャピタル・ゲイン課税(1万口当たり0円)を含みます。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.02%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

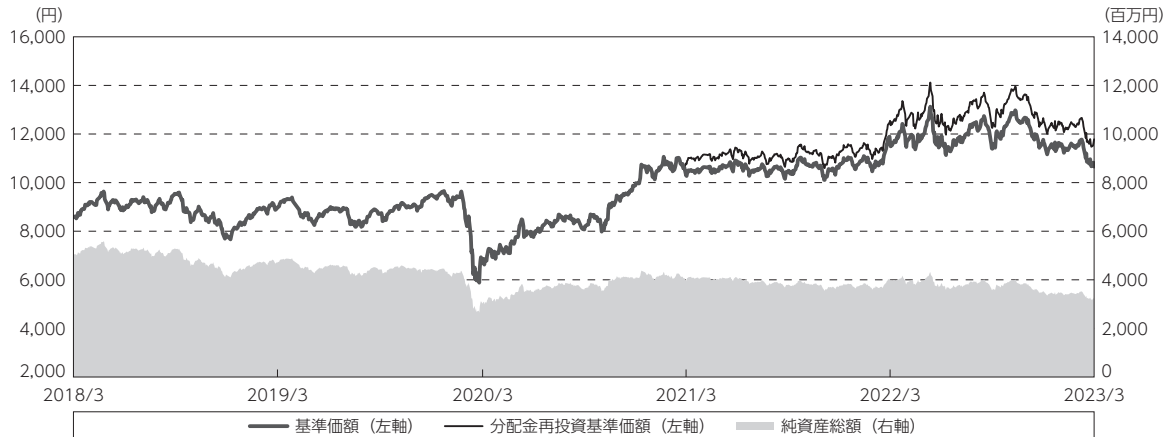
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について (2018年3月29日～2023年3月29日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額は、2018年3月29日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2018年3月29日 決算日	2019年3月29日 決算日	2020年3月30日 決算日	2021年3月29日 決算日	2022年3月29日 決算日	2023年3月29日 決算日
基準価額 (円)	8,581	8,969	6,692	10,296	11,663	10,658
期間分配金合計(税込み) (円)	—	0	0	500	300	300
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	4.5	△ 25.4	61.3	16.2	△ 6.0
純資産総額 (百万円)	5,037	4,718	3,019	3,951	3,973	3,213

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 (注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

投資環境について

【株式市況】

当期の世界の株式市場は前期末比で下落しました。期初から2022年10月中旬まで、市場は上下動を繰り返しながらも下落基調となりました。世界的な高インフレ、主要国における積極的な金融引き締め政策などが下落要因となりました。その後、米国の利上げペース鈍化観測などを背景に2023年2月初旬にかけて市場は上昇基調に転じたものの、期末にかけては欧米の銀行不安に伴い軟調となりました。

当期の国際商品市況は前期末比で下落しました。期初から2022年6月上旬にかけては中国の都市封鎖解除を受けて上昇傾向となったのち、7月中旬にかけては世界的な高インフレに伴い下落傾向となりました。その後、8月下旬にかけては需給ひっ迫懸念から天然ガスを中心に値を戻す展開となったものの、期末にかけては一定範囲内で推移しました。

【為替相場】

当ファンドの主要投資対象通貨である米ドルは、当期において対円にて前期末比で上昇しました。期初から2022年10月中旬までは、米国の積極的な利上げを背景に上昇基調となりました。その後、米国の利上げペース鈍化観測、日本の大規模金融緩和の一部修正などに伴い、2023年1月中旬にかけて米ドルの対円相場は下落傾向となったものの、期末にかけては一定範囲内で推移しました。同じく主要投資対象通貨であるユーロは、当期において対円にて前期末比で上昇しました。期初から2022年9月下旬にかけては一定範囲内で推移したのち、10月下旬にかけては欧州中央銀行による積極的な利上げに伴い上昇傾向となりました。その後、2023年1月中旬にかけて日本の大規模金融緩和の一部修正などから途中上下動を見せながらも下落傾向となったものの、期末にかけては一定範囲内で推移しました。

ポートフォリオについて

<HSBC 世界資源エネルギーオープン>

「HSBC 世界資源エネルギー マザーファンド」への投資を通じて、主に世界の資源・エネルギー関連の株式等に投資しました。

<HSBC 世界資源エネルギー マザーファンド>

エネルギー価格や金属価格の変動とその関連セクターへの波及を考慮し、資源・エネルギー関連分野において選別投資を行いました。地域別では、引き続き欧州、北米のウエイトを高めとしました。期首比では、欧州とアジア・太平洋の組入比率が低下した一方、北米の組入比率は上昇しました。業種別では、当期を通じてエネルギー、公益事業、資本財の組入比率を高め配分としました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

分配金について

当期につきましては、基準価額の水準・市況動向などを勘案し、300円（1万口当たり・税込み）とさせていただきます。

なお、留保益の運用につきましては特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第16期
	2022年3月30日～ 2023年3月29日
当期分配金	300
(対基準価額比率)	2.738%
当期の収益	204
当期の収益以外	95
翌期繰越分配対象額	1,692

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◆今後の運用方針◆

根強いインフレを背景に主要中央銀行が利上げを継続するなか、世界的に景気後退懸念が強まっており、企業業績の下振れ懸念も高まっています。こうしたことを背景に、世界の株式に対して選別的なアプローチを採用することで、当社では引き続き相応の株式の期待リターンを見込んでいます。また、世界的な景気後退リスクが鮮明化するにつれ、国際商品市況が軟調になる可能性には留意が必要と考えます。

<H S B C 世界資源エネルギーオープン>

「H S B C 世界資源エネルギー マザーファンド」への投資を通じて、主に世界の資源・エネルギー関連の株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。

<H S B C 世界資源エネルギー マザーファンド>

資源・エネルギー関連の幅広い投資対象の中から、収益性が高く、バリュエーションが割安な銘柄に重点的に投資をしています。なお、投資対象には、代替エネルギー、公益、食料品セクターも含まれています。

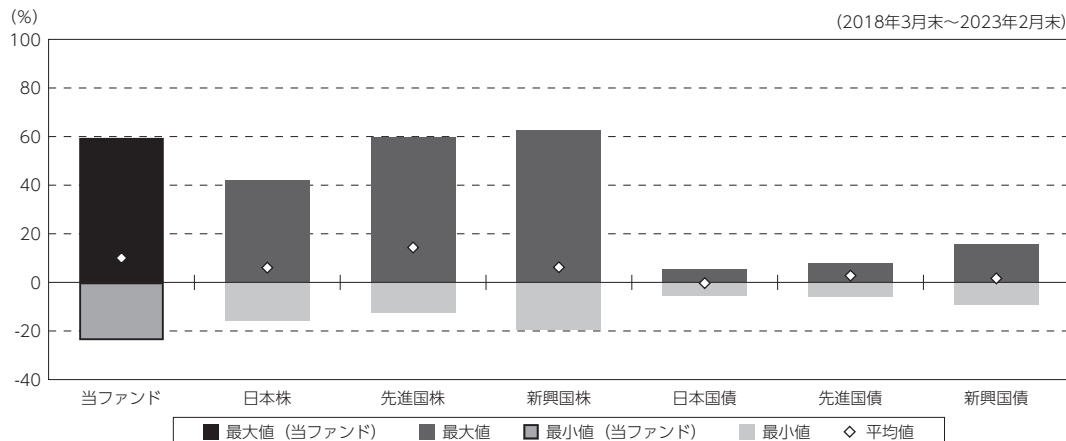
◆お知らせ◆

ありません。

◆当ファンドの概要◆

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	無期限	
運用方針	H S B C 世界資源エネルギー マザーファンド受益証券への投資を通じて、主に世界の資源・エネルギー関連の株式等に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主要投資対象	H S B C 世界資源エネルギーオープン	H S B C 世界資源エネルギー マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	H S B C 世界資源エネルギー マザーファンド	主として、世界の資源・エネルギー関連の株式等に投資します。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・株式の実質組入比率は、原則として高位に維持します。 ・実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 	
分配方針	<p>年1回の決算時（毎年3月29日、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。</p> <p>①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②分配金額は、委託者が基準価額水準・市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないことがあります。</p> <p>③留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>	

◆ (参考情報) 代表的な資産クラスとの騰落率の比較 ◆



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	59.5	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	15.7
最小値	△ 23.8	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 9.4
平均値	10.0	6.1	14.4	6.2	△ 0.3	2.8	1.6

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2018年3月から2023年2月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込み)

先進国株：MSCI - KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※各指数についての説明は、後述の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

◆当ファンドのデータ◆

(2023年3月29日現在)

当ファンドの組入資産の内容

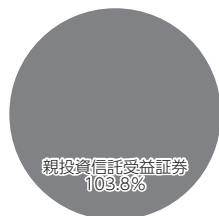
○組入上位ファンド

銘 柄 名	第16期末
H S B C 世界資源エネルギー マザーファンド	103.8 %
組入銘柄数	1銘柄

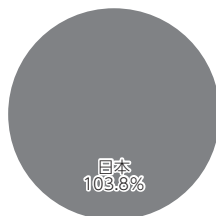
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

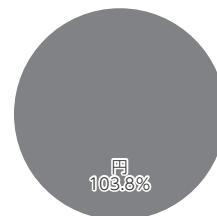
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。国別配分は、国・地域別による配分です。

○純資産等

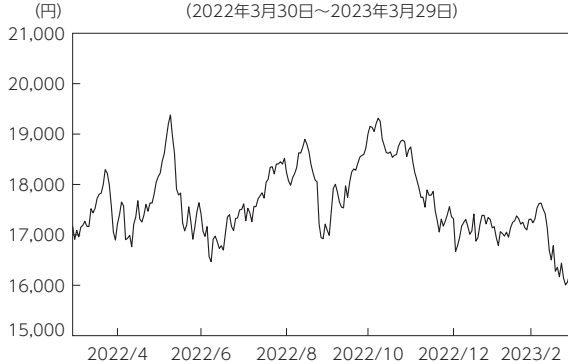
項 目	第16期末
	2023年3月29日
純 資 産 総 額	3,213,211,517円
受 益 権 総 口 数	3,014,936,193口
1万口当たり基準価額	10,658円

(注) 期中における追加設定元本額は429,144,842円、同解約元本額は821,090,088円です。

組入上位ファンドの概要

◆ H S B C 世界資源エネルギー マザーファンド (計算期間 2022年3月30日~2023年3月29日)

○基準価額の推移



○1万口当たりの費用明細

(2022年3月30日~2023年3月29日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	25 (25)	0.142 (0.142)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	4 (4)	0.021 (0.021)
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	36 (26) (9)	0.202 (0.150) (0.052)
合 計	65	0.365

期中の平均基準価額は、17,672円です。

- (注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。
- (注) 「(c)その他費用」の「(その他)」には、非居住者のインド株式投資の売買益にかかるキャピタル・ゲイン課税(1万口当たり0円)が含まれます。

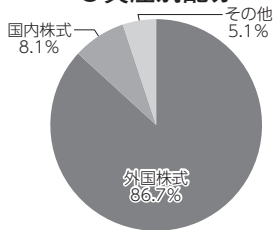
○組入上位10銘柄

(2023年3月29日現在)

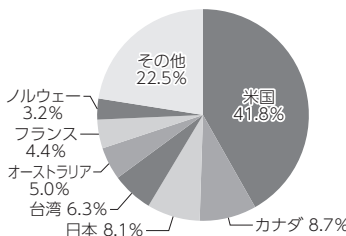
順位	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	EXXON MOBIL CORP COM	エネルギー	米ドル	米国	2.5
2	I N P E X	鉱業	円	日本	2.5
3	TOTALENERGIES SE	エネルギー	ユーロ	フランス	2.4
4	NRG ENERGY INC	公益事業	米ドル	米国	2.4
5	KONINKLIJKE DSM NV	素材	ユーロ	オランダ	2.4
6	BHP GROUP LIMITED	素材	オーストラリアドル	オーストラリア	2.4
7	三菱電機	電気機器	円	日本	2.4
8	NISOURCE INC	公益事業	米ドル	米国	2.4
9	CHEVRON CORP NEW COM	エネルギー	米ドル	米国	2.4
10	KELLOGG COMPANY	食品・飲料・タバコ	米ドル	米国	2.3
組入銘柄数				50銘柄	

- (注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
- (注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。
- (注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

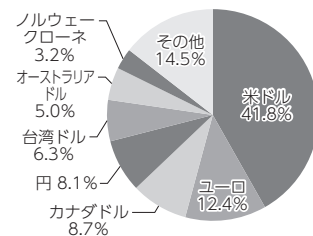
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



- (注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
- (注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。国別配分は、国・地域別による配分です。
- (注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

◆指数に関して◆

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

○東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

○MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI – KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース) は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

○NOMURA – BPI 国債

NOMURA – BPI 国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

○FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

○JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース)

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイド (円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス – エマージング・マーケット・グローバル・ディバースファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。